

メッセージ 4
獅子・小羊
聖書：啓 5:5-10

I. 啓示録は、イエス・キリストの絵です。この書の二十二の章は、イエスを描写し説明する一つの肖像画です——啓 1:1-2, 5。

II. 「見よ、ユダ族の獅子、ダビデの根が勝利を得た」——啓 5:5 前半：

- A. 獅子はキリストの象徴であり、創世記第 49 章 8 節から 9 節で啓示されているように、敵に対する強力な戦う者であるキリストを描写しています。
- B. キリストの勝利は、巻物と七つの封印を開く資格を彼に与えます——啓 5:5-10。
- C. 「ダビデの根」という名称は、キリストがダビデの源であることを表徴します。ですから、彼の父祖ダビデは、彼を「主」と呼んだのです——マタイ 22:42-45。
- D. ユダ族の獅子として、キリストは神の敵、反逆者サタンに打ち勝ち、彼を打ち破りました。また贖う小羊として、彼は墮落した人の罪を取り除きました：
 - 1. そうすることによって、彼は神の定められた御旨の成就に対する障害物を取り除きました。
 - 2. その結果、キリストは神のエコノミーに関する巻物を開くのにふさわしいのです。

III. 「わたしは……御座……の間に、ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角と七つの目があつた。それは全地に遣わされた神の七つの霊である」——啓 5:6. 1:4. 3:1：

- A. 第 5 章には天の光景があり、そこにキリストは昇天した後おられます：
 - 1. 彼はユダ族の獅子として使徒ヨハネに対して推薦されました。しかし、彼はヨハネに小羊として現れました。
 - 2. 獅子としての彼は、敵と戦う方であり、小羊としての彼は、わたしたちのための贖い主です。
 - 3. 彼はわたしたちを贖うために戦い、敵に対する戦いに勝利を得て、わたしたちのために贖いを完成しました。
 - 4. 敵にとって彼は獅子であり、わたしたちにとって彼は小羊です。ですから、彼は獅子・小羊です。
- B. 贖いに関する限り、キリストは昇天の後、天で神の右に座りました(ヘブル 1:3. 10:12)。神の行政の遂行に関して、彼はなおも昇天の中で立っています。
- C. 「ほふられたばかり」とは、小羊がほふられたばかりであり、また啓示録第 5 章に描写されている天の光景が、キリストが天に昇った直後であったことを示しています。
- D. 主は七つの角を持っています——啓 5:6 後半：
 - 1. 角は戦いにおける力を表徴します——申 33:17。
 - 2. キリストは贖う小羊ですが、戦うために角を持っています。
 - 3. 彼は戦う贖い主です。彼の戦いは、神の行動の中で完全です。これは、七の数で表徴されているとおりです。
- E. 目は観察し探り求めるためです：
 - 1. 贖う小羊としてのキリストは、七つの観察し探り求める目を持っています。それは、宇宙で神の裁きを執行し、神の永遠の定められた御旨を成就するためです。神の永遠の定められた御旨は、新エルサレムの建造において究極的に完成します。
 - 2. ゼカリヤ書第 3 章 9 節で、キリストは石、すなわち、神の建造のための七つの目を持つ

頂石(4:7)として予言されています。

3. これらの七つの目は、あまねく全地を行き来する、全地に遣わされた神の七つの霊です——ゼカリヤ 4:10。
4. ギリシャ語の文法によれば、「それ」は「七つの目」です——啓 5:6。
5. 神の七つの霊が指しているのは、小羊の七つの目だけであって、彼の七つの角ではありません。

IV. 「神の七つの霊」——啓 1:4 . 3:1 . 4:5 . 5:6 後半：

A. 啓示録第1章4節は、「彼の御座の前の七つの霊」について語っています：

1. 七つの霊は、疑いもなく神の霊です。なぜなら、七つの霊は啓示録第1章4節から5節で、三一の神の間に置かれているからです。
2. 七は神の活動における完全の数ですから、七つの霊は、地上における神の行動のためであるに違いありません。
3. 本質と存在において、神の霊は一ですが、神の活動の強化された機能と働きにおいて、神の霊は七倍です：
 - a. これは、ゼカリヤ第4章2節にある燭台しょくだいのようです。
 - b. 存在においては、一つの燭台ですが、機能においては、七つのともし火です。
4. 啓示録が書かれた時、召会は墮落していました：
 - a. 時代は暗くなっていました。
 - b. 神の七倍に強化された霊が、地上における神の行動と働きのために必要でした。

B. マタイ第28章19節で、三一の神の順序は、父、子、聖霊です。啓示録第1章4節から5節では順序が変えられています：

1. 神の七つの霊が、三番目ではなく、二番目に置かれています。
2. これは、神の七倍の霊の強化された機能の重要性を啓示しています。
3. この点は、第2章7、11、17、29節、第3章6、13、22節、第14章13節、第22章17節で、その霊の語りかけが繰り返し強調されていることで確認されます。

C. 他の書簡の開始においては、御父と御子だけが述べられています：

1. 御父と御子から恵みと平安が受取人に与えられています。
2. 啓示録第1章4節から5節ではその霊が加えられており、その方から恵みと平安が諸召会に分け与えられています。
3. これは、召会の墮落に対抗する神の行動のために、その霊が極めて必要であることを示します。

D. 七つの霊は諸召会の中で働いています。ですから、諸召会は確かに前進します。

E. 今日、わたしたちは七倍の霊、強化された霊、回復の霊を見て、経験する必要があります——啓 1:4-5。

V. 「彼らは新しい歌を歌って言う、『あなたはその巻物を受け取り、その封印を開くのにふさわしい。なぜなら、あなたはほふられ、その血によって、あらゆる部族、言語、民族、国から人々を神に買い取って[くださったからです]』」——啓 5:9：

A. ここの歌が新しいのは、賛美されている小羊が、ほふられたばかりであるからです。

B. 全宇宙で、勝利を得た獅子と贖う小羊であるキリスト以外に、だれも神のエコノミーの奥義を開くのにふさわしくありません：

1. 彼は勝利を得た獅子として、神のためにサタンを打ち破りました。
2. 彼は贖う小羊として、わたしたちのために罪を除き去りました。
3. キリストは神のエコノミーの奥義を明らかにし、それを遂行する資格のある唯一の方

です。

4. わたしたちは、キリストが神聖なエコノミーの秘密の封印を開くのにふさわしいことを認識する必要があります。主のふさわしさのこの面は、宇宙的であり、計り知れません。
5. キリストはわたしたちの賛美にふさわしいのです。彼はわたしたちの一生にさえふさわしいのです。